



フォーサイド グループ 2023年12月期 決算説明資料

補足説明資料

2023年12月期 連結業績ハイライト

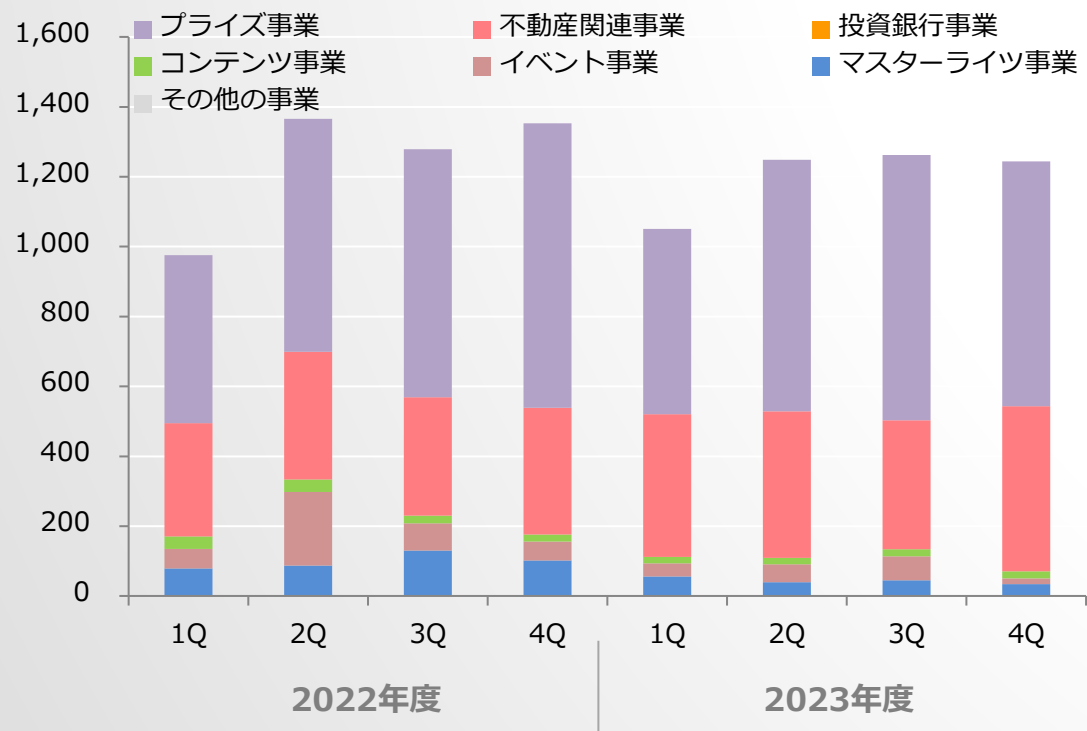
(単位：百万円)

	2022年度 通期	2023年度 通期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	4,988	4,817	96.6%	2023年12月期の営業収益は、プライズ事業及び不動産関連事業は堅調に推移。一方で、赤字の状態 で早期の業績の回復を見込めない子会社3社の株式 譲渡を行ったことにより、グループ全体では前年比 96.6%の微減となった。 利益においては、不動産関連事業における滞納発生 数の増加及び滞納家賃の回収率低下に伴う貸倒引 当金繰入額が大幅に増加。一方で、プライズ事業及 び出版事業における原価の抑制、子会社3社の株式 譲渡による販売管理の減少等により、営業利益は52 百万円、経常利益は44百万円となった。 また、当連結会計年度において、子会社3社の売却 益25百万円、不動産関連事業における債務消滅益 85百万円を特別利益として計上したこと等により、親 会社株主に帰属する当期純利益は、113百万円となっ た。
売上総利益	1,821	1,933	106.1%	
販売管理費	1,897	1,880	99.1%	
営業利益	△75	52	—	
経常利益	△74	44	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△107	113	—	

事業の選択と集中を図ることで、グループ全体の事業収益が改善
主力のプライズ事業が堅調に推移したことで、営業利益を確保

営業収益の成長推移

(単位：百万円)



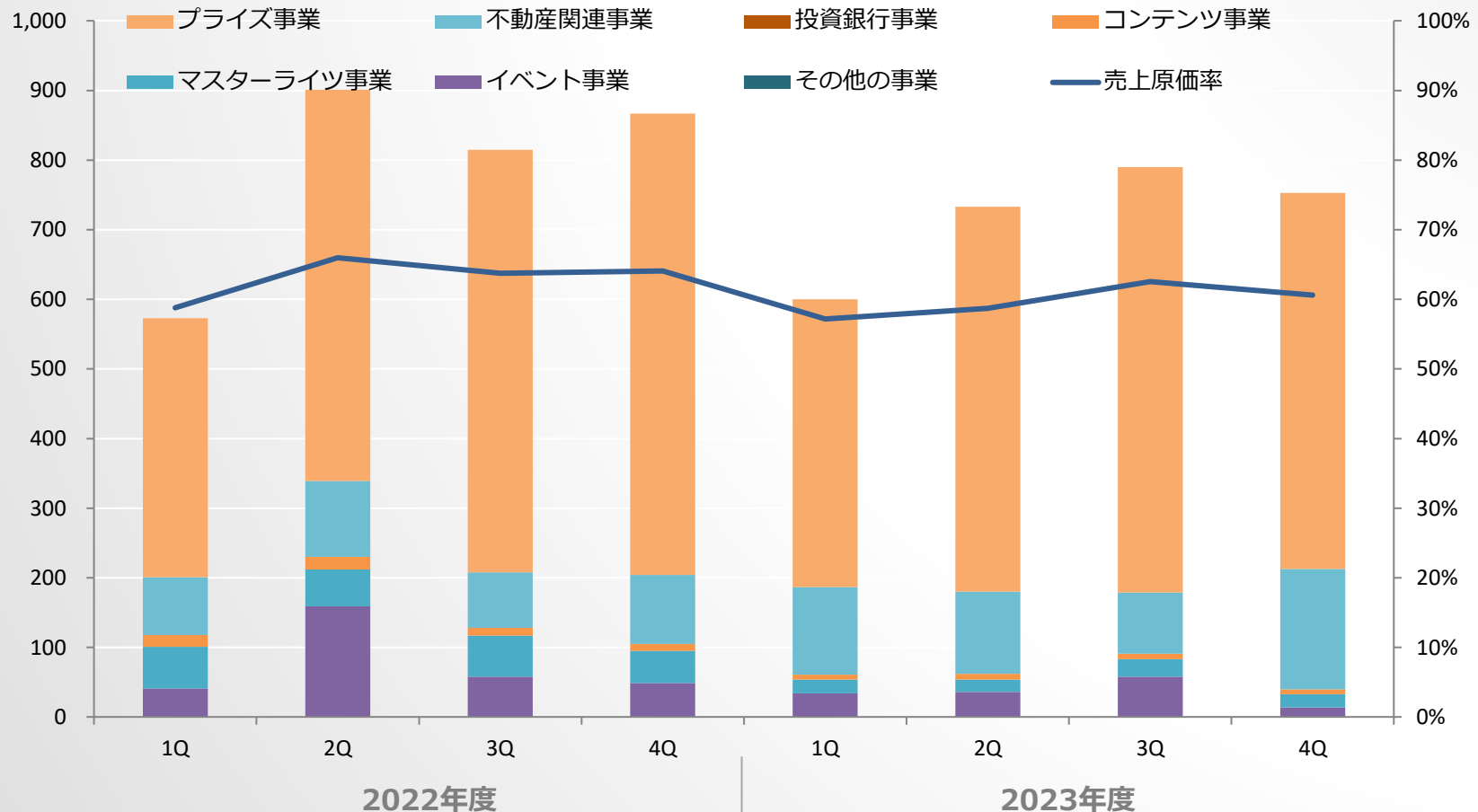
グループ全体の営業収益は堅調に推移

セグメント別の主な増減要因

プライズ事業	プライズ事業では、定番商品や人気キャラクターグッズの販売が堅調に推移し、売上を牽引。また、コストコントロールを徹底することで、為替の円安進行に伴う仕入原価の高騰による影響を最小限に抑え、前年を大きく上回るセグメント利益を確保。
不動産関連事業	不動産関連事業では、新規取引店の獲得や既存取引先の再稼働等、営業強化・拡大に向けた取り組みが功を奏し、家賃保証件数は堅調に推移。一方で、管理回収面においては、滞納発生数の増加及び滞納家賃の回収率低下による貸倒引当金繰入額の大幅な増加、営業強化・拡大によるコスト増加等により、セグメント利益は減少。
コンテンツ事業	コンテンツ事業では、電子書籍配信サイト「モビぶっく」において、費用対効果をより重視した集客プロモーションを継続的に実施し、広告宣伝費の最適化に努める。また、人気作品の配信数の拡充に努めるとともに、無料試し読みや各種割引キャンペーンを展開し、ユーザー満足度の向上に注力。一方で、2022年7月以降、auスマートパス「アプリ取り放題」が終了したことに伴い、セグメント損失を計上。
イベント事業	イベント事業では、行動制限の撤廃によりイベントの開催が活発化し、需要は増加傾向にあるものの、前年度に好調だったOEM物販の反動減を補うまでには至らず、減収減益。
マスターライセンス事業	マスターライセンス事業では、女子小中学生向け雑誌「Cuugal」のイメージモデルにかんちゃん（カジサック氏の長女）や望蘭ちゃんを起用することで、ブランド認知度は大きく向上。「Popteen」においては、WEBマガジンや各種SNSを強化することで、デジタルネイティブ世代の需要に沿った情報発信に切り替えることで読者層の拡大を目指すも、広告収益が伸び悩んだこともあり、利益を確保するには至らず。なお、音楽関連事業の廃止及びPopteenの紙面販売の終了により、記事制作コストの削減、販売管理費の減少等により、セグメント損益は大幅に改善

売上原価の推移

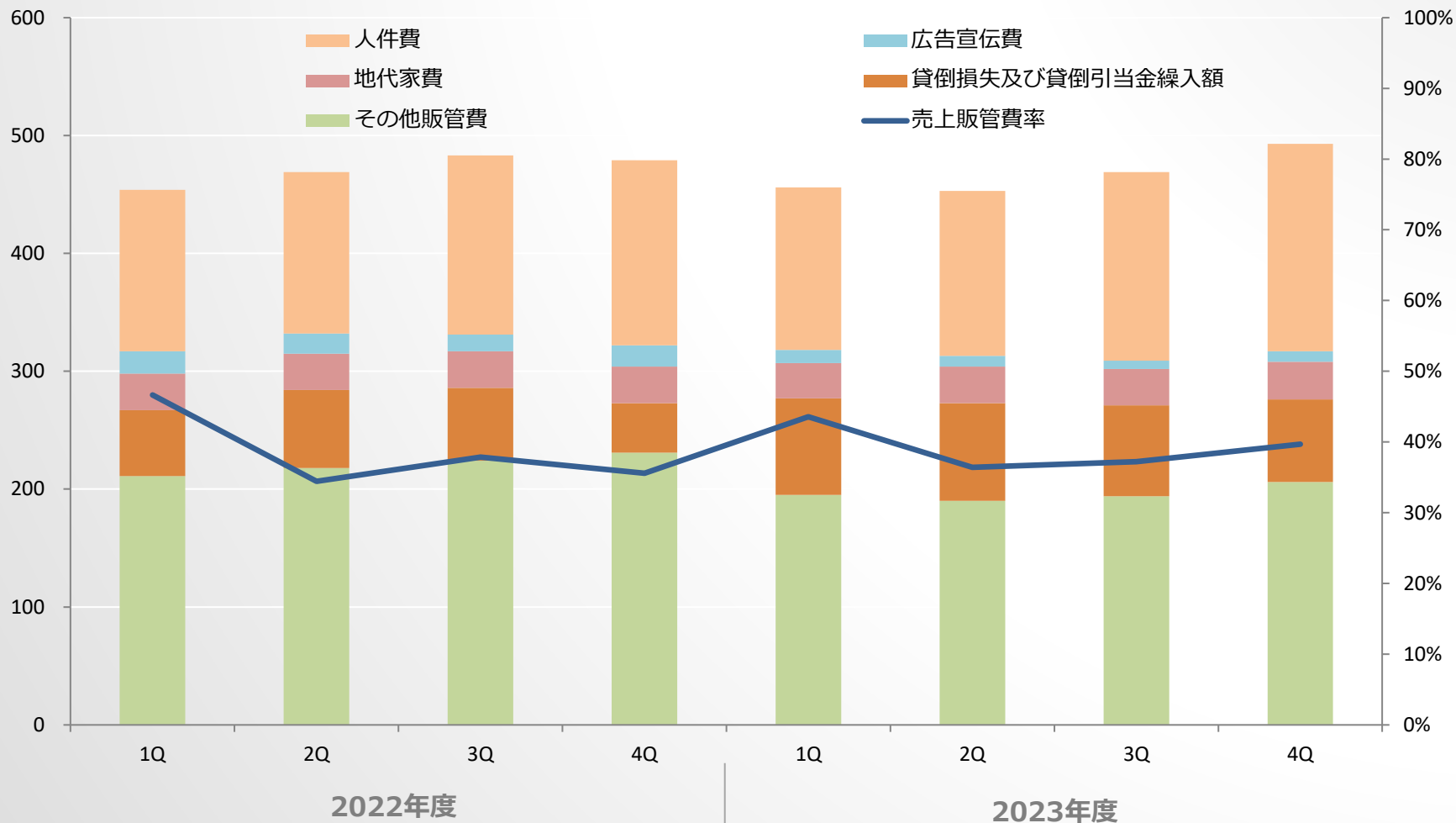
(単位：百万円)



採算率の悪い商品取扱いを見送る等、
コストコントロールを徹底することで原価を抑制

販売管理費の推移

(単位：百万円)



不動産関連事業における貸倒引当金繰入額が大幅に増加

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年度末	2023年度末	増減金額	主な増減要因・傾向
資 産	4,249	4,448	199	資産については、現金及び預金の増加248百万円、収納代行未収金の増加138百万円及び売上債権の減少157百万円等により、前連結会計年度末に比べ199百万円の増加となった。
負 債	3,193	2,873	△320	負債については、短期借入金の減少204百万円及び支払手形及び買掛金の減少99百万円等により、前連結会計年度末に比べ320百万円の減少となった。
純資産	1,055	1,575	519	純資産については、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ202百万円増加したことや、親会社株主に帰属する当期純利益113百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ519百万円の増加となった。

(注) 2024年2月13日現在、発行済株式総数は37,687,704株、資本金は10百万円です。

第三者割当増資及び当期純利益の計上により、純資産は大幅に増加



主力事業の活動展開状況

プライズ事業の展開



売上は堅調に推移

為替の円安進行に伴う仕入原価の高騰による影響を最小限に抑え、利益を確保

不動産事業の展開



「滞納報告プラン」

55,258件⇒

55,995件

入居者様の家賃支払い滞納が発生した場合、オーナー様からの報告受けた時点で、オーナー様又は管理会社様へ代位弁済するサービスプランを提供。



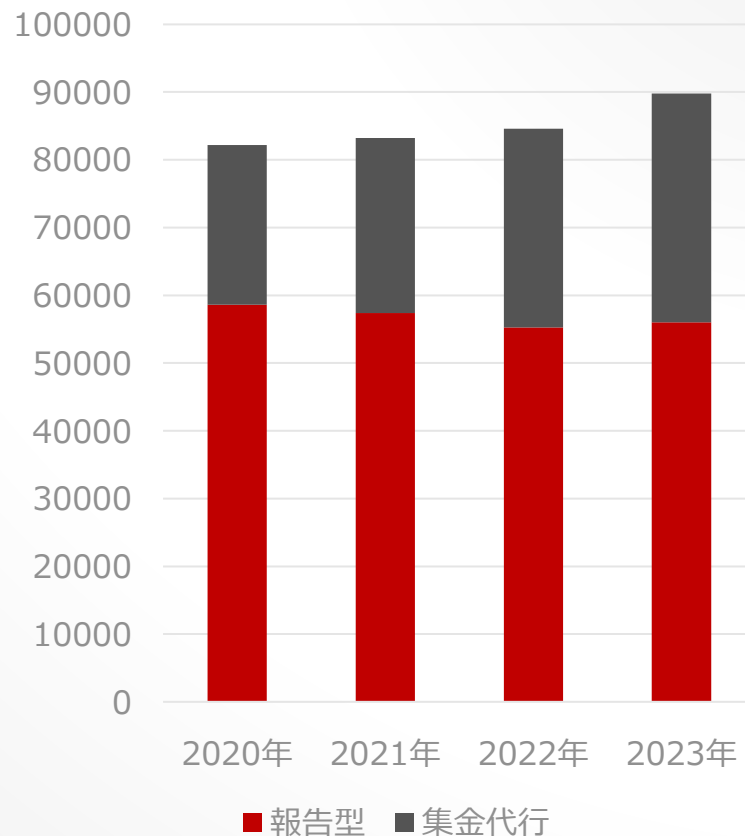
「集金代行プラン」

29,319件⇒

33,771件

金融機関と提携し賃料の集金を代行。不動産オーナー様にとって、確実な賃料収入の保証と、業務の効率UPが見込めるサービスプランを提供。

保証債務件数の成長推移



家賃保証サービスの需要は堅調に推移

滞納発生数の増加及び家賃回収率低下に伴い貸倒引当金繰入額が大幅に増加

マスターライセンス事業の展開



PopteenはWEBマガジン、Cuugalは誌面で展開

デジタルネイティブ世代のニーズに沿った情報発信に注力し、読者層の拡大を目指す

マスターライセンス事業の展開



読者参加型のワークショップや「Popteen夏のかわい祭」「Cuugal文化祭」を開催
イベントの充実を図り、読者接点の拡充に取り組む

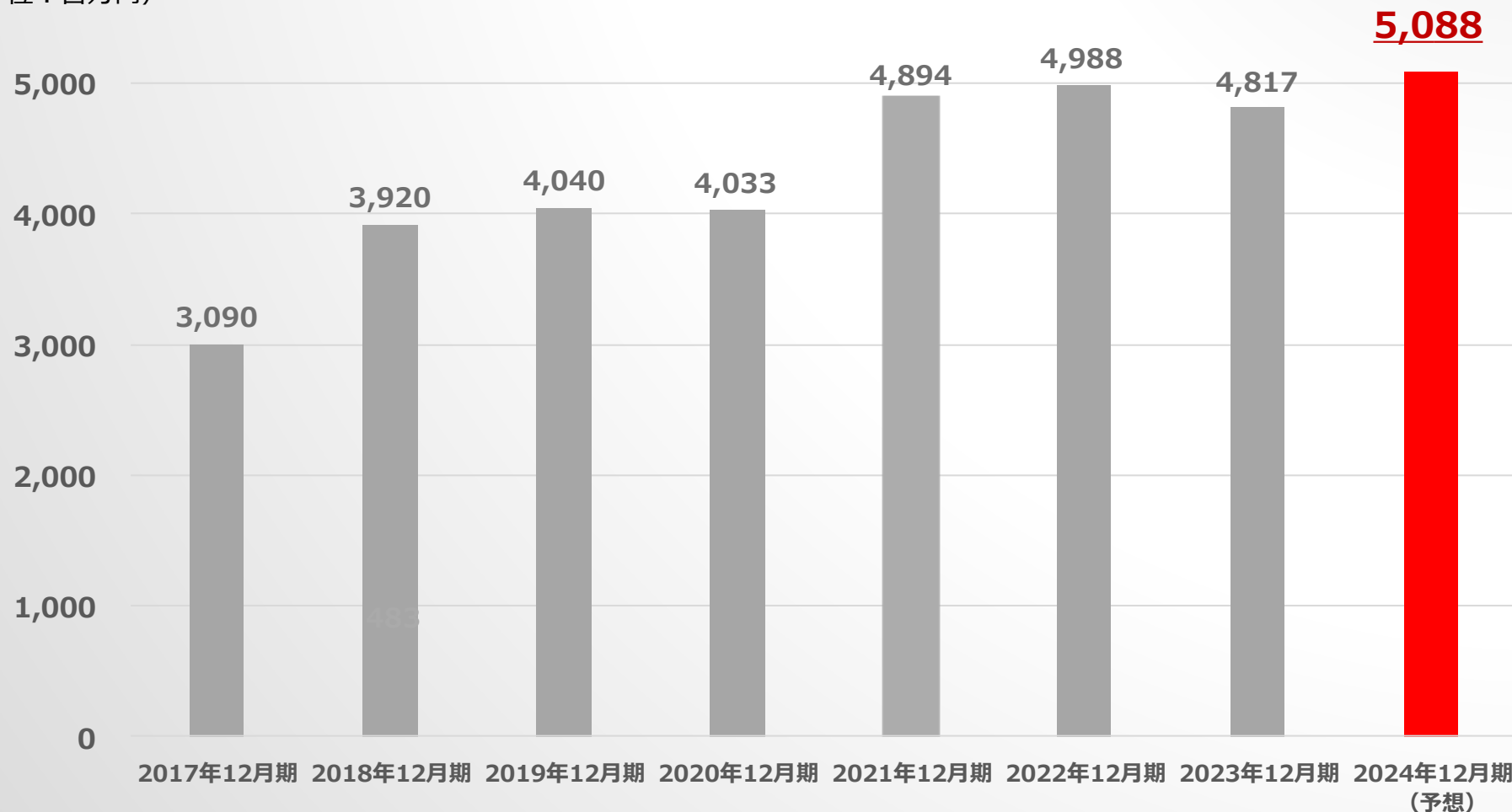


2024年12月期の業績見通し

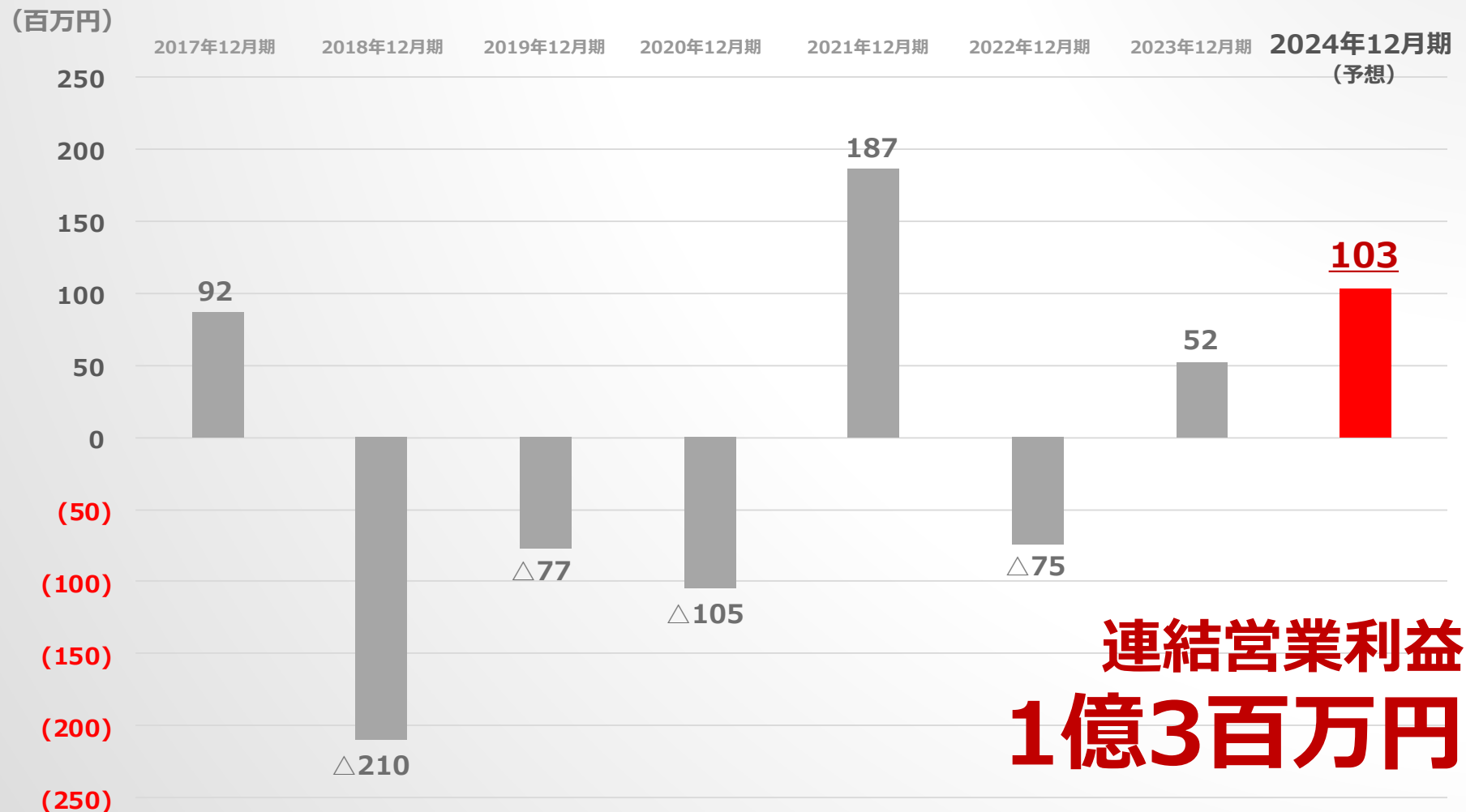
連結営業収益（通期予想）

連結営業収益50億88百万円
(前年比5.6%増)

(単位：百万円)



連結営業利益（通期予想）





参考資料（グループ概要）

フォーサイドグループ概要

会 社 名	株式会社フォーサイド（持株会社）		
所 在 地	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階		
設 立 日	2000年3月31日（2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330）		
資 本 金	10,000,000円（2024年2月13日現在）		
経 営 陣	代表取締役 根津 孝規 取締役 泉 信彦 取締役 河崎健一郎 監査等委員 法木 右近	取締役会長 大島 正人 取締役 松原 俊幸 取締役 荒木 聡 監査等委員 田辺 一男	常務取締役 飯田 潔 監査等委員 瀬山 剛
顧 問	法律顧問 TMI総合法律事務所		
事 業	株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等		
主な子会社	・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営 ・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業 ・(株)ポップティーン：電子書籍配信事業/出版事業 ※フォーサイドフィナンシャルサービス(株)及び(株)マーベラスアークは、2023年1月1日付で保有する全株式を譲渡し、当社グループの連結の範囲から外れております。 ※2024年1月1日付で(株)ポップティーンを存続会社、フォーサイドメディア(株)を消滅会社とする簡易吸収合併を行っております。		

(2024年2月13日現在)



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。